

臨床腫瘍セミナー

～やさしく癌・免疫・炎症のつながりを学ぼう～

日時：平成24年8月21日(火) 18時～19時

場所：福島県立医科大学 11号館(臨床講義棟) 第二臨床講義室

演題：「癌患者リンパ球のむこうに見えるもの」

講師：福島県立医科大学 腫瘍生体治療学講座

教授 柴田 昌彦 先生

<講演内容>

私達のからだは複雑な「免疫」システムで保護されています。癌になるとその免疫システムが変化します。何が変わるのでしょうか？

私達は長い間がん患者さんの血液からそれを研究してきました。その結果見えてきたのは、癌患者さんの細胞性免疫能は減弱している。その原因は、がんになって増加してくる特別な細胞群であることが分かってきました。即ち、Type 2 helper T cell (Th2), 制御性T細胞(Treg), 骨髄由来免疫抑制細胞(MDSC)といった細胞たちなのです。どのようにして出現して増加するのでしょうか？まだ詳しくは分からない部分も多いのですが、その根底には「慢性炎症」が引き起こされていると考えられます。この炎症は化学療法、手術、放射線治療などによって増強したり減弱することも分かってきました。これからの癌治療にはこの「炎症」を制御しながら治療を進めることが重要と考えられています。

<講師紹介>

1956年神奈川県生まれ、牡牛座。1981年に日本大学医学部を卒業し同・第一外科学講座に入局しました。1985年に大学院を卒業して1986年から1989年までカリフォルニア大学ロサンゼルス校の腫瘍外科学講座で働きました。その後帰国してから日本大学第一外科で一般外科学、免疫抑制機構、癌免疫療法などの研究を行ってきました。2004年から公立阿伎留医療センターの消化器病センター長、副院長として赴任した後、2010年から福島県立医大の腫瘍生体治療学で研究活動を継続しています。

- ◆がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。

<次回開催のお知らせ>

日時：平成24年9月18日(火) 18時～19時

〈問い合わせ先〉 福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター がんプロフェッショナル養成支援室
TEL：024-547-1410(内5660) mail：yamadaa@fmu.ac.jp